

HiKOKI

取扱説明書

用途

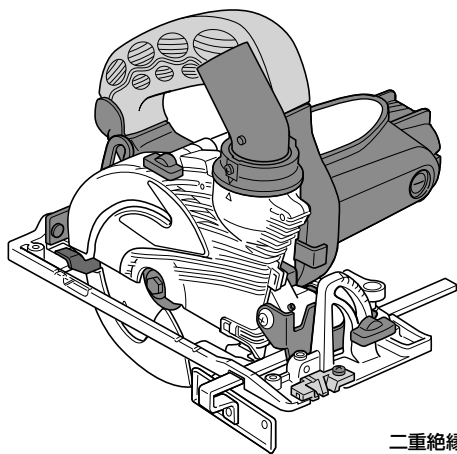
● 各種材料の切断

集じん丸のこ

100 mm C 4YC

125 mm C 5YB2

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



C 5YB2

二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
集じん丸のこの使用上のご注意	4
各部の名称	7
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	10
用途	11

準備

ご使用前の準備	12
ご使用前の点検	13
各種調整方法について	15
集じん機能の使い方	17

使い方

キックバックについて	20
直角に切断する	21
傾斜切断する	23
のこ刃の取りはずし・取付け	25
ソーカバーの取りはずし・取付け	27
ガイドの使い方	29
ダイヤモンドホイールの取付けについて	30
フッ素プレートの使い方	30

その他

保守・点検	31
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。

電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。

（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - ・延長（継ぎ）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- ・使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - ・付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - ・その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。**
屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。**
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - ・スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

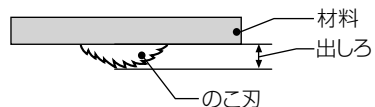
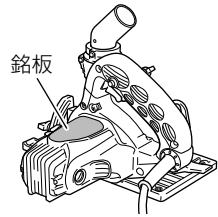
お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。
純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

集じん丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、集じん丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。
また、円滑に動くことを確認してください。
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。
- ③ のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。
また、歯底径がC 4YC は 63 mm 以下、C 5YB2 は 102 mm 以下ののこ刃は使用しないでください。
保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ④ 切断する材料は、安定性の良い台に置いてください。
台が不安定であると、けがの原因になります。
- ⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃が挟み込まないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
のこ刃が挟み付けられると、けがの原因になります。
- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。
また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。
このような台がないと、けがの原因になります。



⚠ 警告

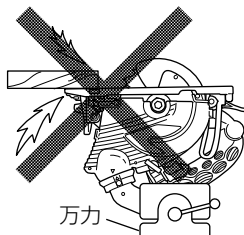
- ⑦ 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、機体が振れ、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑨ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま機体を戻さないでください。
必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから機体を持ち上げるようにしてください。
回転させたまま機体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落したり、ぶつけたときは、のこ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

○騒音防止規制について

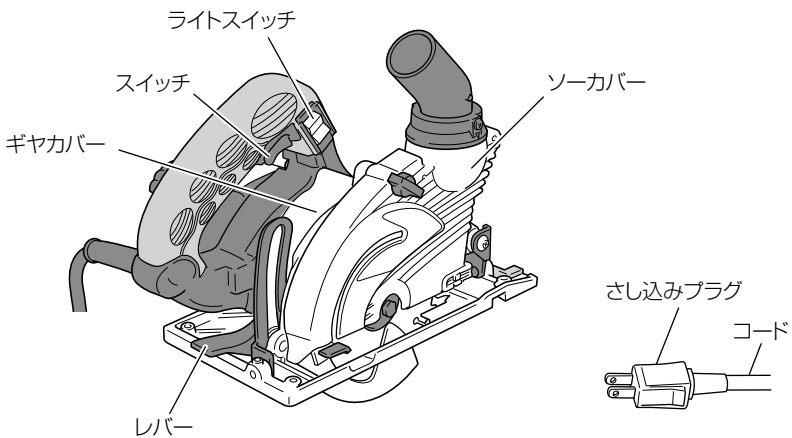
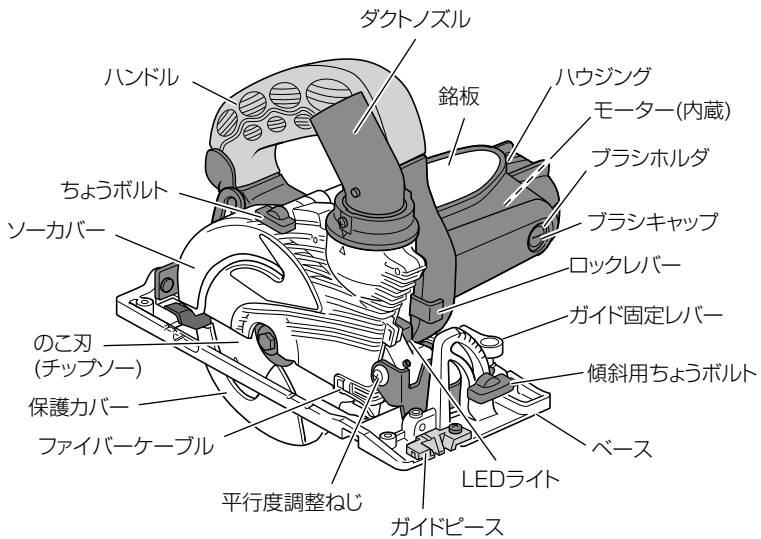
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠注意

- ① 刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
機体を落としたりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に載せたまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑨ 回転するのこ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。
- ⑩ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑪ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑬ 機体を作業台や床に置くときは、のこ刃の回転が完全に停止して、保護カバーで、のこ刃がおおわれていることを確認してください。
機体が自走して、けがの原因になります。



各部の名称

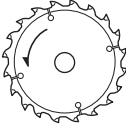
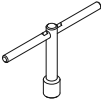
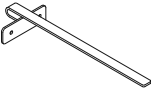
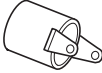
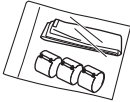
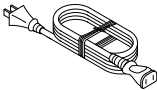


C 5YB2

仕 様

項目 \ 形名	C 4YC	C 5YB2
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
最 大 切 込 み 深 さ	27 mm	39.5 mm
の こ 刃 (チ ッ プ ソ ー)	外径 100 mm × 穴径 20 mm	外径 125 mm × 穴径 20 mm
	刃数 16	刃数 20
無 負 荷 回 転 数	9,000 min ⁻¹ {回 / 分}	
全 負 荷 電 流	11 A	
消 費 電 力	1,050 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質 量 (コードを除く)	2.7 kg	2.9 kg
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル : 5 m 0.25 m (SN 仕様のみ)	

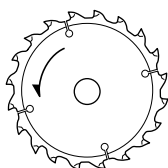
標準付属品

標準付属品	形名・(仕様)	C 4YC C 5YB2	C 4YC (N) C 5YB2(N)	C 4YC (SN) C 5YB2(SN)
① チップソー (本体装着)		1 枚 一般・硬質窯業系 建材用チップソー	(別売)	(別売)
② ボックススパナ		1 個	1 個	1 個
③ ガイド		1 個	1 個	1 個
④ ダクトアダプタ		1 個	1 個	1 個
⑤ ホースカバーセット		(別売)	(別売)	1 組
⑥ 継ぎコード (5 m)		(別売)	(別売)	1 本

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

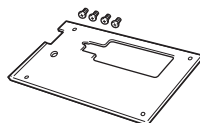
のこ刃

のこ刃やチップソーにつきましては、カタログを参照してください。
またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



フッ素プレート

石こうボードを切る際に使用してください。
付属の特殊ねじ(4本)を、お手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。
(P.30 参照)



注 石こうボード切断専用です。石こうボード以外の切断を行うと、フッ素プレートのフッ素コートがはがれ、フッ素プレートの滑りが悪くなります。

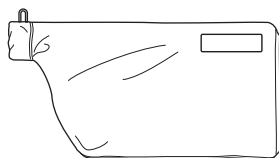
電動工具用集じん機

この機種を使用する際は、電動工具用集じん機に接続して使用することをお勧めします。お買い求めの販売店にご相談ください。(P.19 参照)



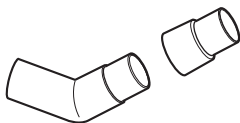
ダストバック

注 切りくずは、早めに捨ててください。
ダストバッグ内の切りくずが満杯になったままで使用すると、排出口に切りくずが詰まり、集じん力が低下します。
(P.18 参照)



マルチ集じんアダプタ

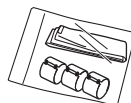
他社製集じん機で、ホース内径φ19、φ25、φ28、φ38を接続できます。



注 ホース内径φ38は標準付属のダクトアダプタで接続できます。

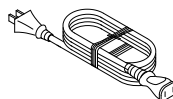
ホースカバーセット

集じん機のホースと、集じん丸のこの電源コードを1本にまとめます。(P.19 参照)
※(SN)仕様に標準付属しています。



継ぎコード (5 m)

※(SN)仕様に標準付属しています。



用 途

○ 各種材料の切断……………下表を参照してください。

	刃 物	切 断 で き る 材 料
標準付属品	一般・硬質窯業系 建材用チップソー	○ 窯業系サイディング ○ 合板 ○ パーティクルボード ○ 木毛セメント板 ○ 硬質細木片セメント板 ○ 硬質窯業系サイディング
別 売 部 品	一般・硬質窯業系 建材用チップソー	
	一般・硬質窯業系 建材用ダイヤチップソー	
	ダイヤモンドホイール (P.30 参照)	○ ALC (厚さ 37 mm 以下) ○ 押出成形セメント建材 (厚さ 25 mm 以下) ※ ○ コンクリート (1 回の切込み深さ 20 mm 以下) ○ 軽量ブロック
	電着ダイヤカッタ	○ 硬質窯業系サイディング ○ 押出成形セメント建材 (厚さ 25 mm 以下) ※
	金属サイディング用 チップソー	○ 金属サイディング ○ アルミサイディング
	石こうボード用 チップソー	○ 石こうボード

※ 押出成形セメント建材は 1 回の切込み深さを 20 mm 以下、および 1 分間に 40 cm 以下の速さで切断してください。

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をお勧めします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

SN仕様の製品は、標準付属品または表の延長コードを使用してください。

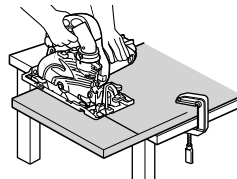
⚠ 警告

延長（継ぎ）コードは損傷のない物を用意してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

●作業台（木製）を用意します

- のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
- バイスなどでしっかり固定すれば、両手で作業することができます。



●集じん機またはダストバッグを用意します

本機を使用する際には、別売のダストバッグまたは、電動工具用集じん機を取付けて使用してください。取付け方は、P.17～19の「集じん機能の使い方」を参照してください。

ご使用前の点検

⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。
手順①、②、④～⑦については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

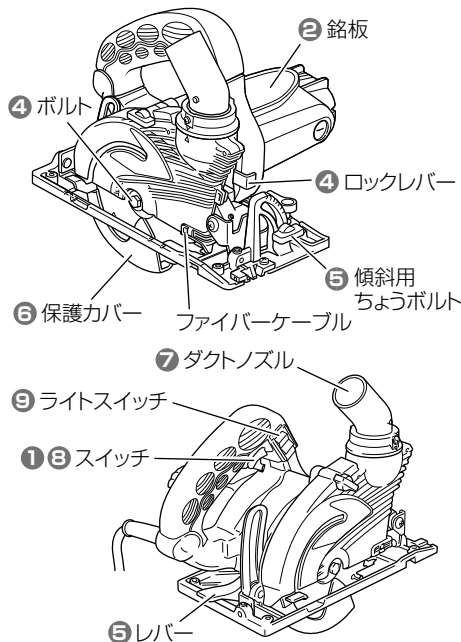
スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

2 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

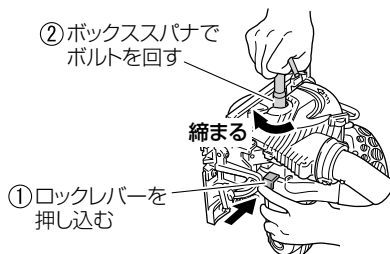
3 コンセントを確かめる

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



4 この刃の締付けを確かめる

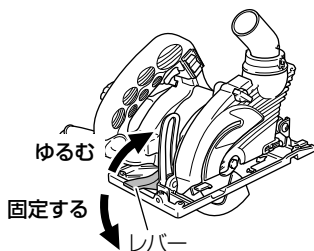
ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを時計方向に回すと、この刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。



注 この刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

5

レバー、傾斜用ちょうボルトの締付けを確かめる



6

保護カバーの動きを確かめる

保護カバーは、のこ刃が体に触れることを防ぎます。

必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

7

集じん機またはダストバックの取付けを確かめる (P.17～19 参照)

8

ブレーキがかかることを確かめる

本製品はスイッチを切ると同時に、のこ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。

使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

9

ライトの点灯を確かめる

- ライトスイッチの「ON」側を押すと点灯し、「OFF」側を押すと消灯します。
- LED ライトは刃先の奥側から照射し、ファイバーケーブルで刃先の手前側から照射します。

⚠ 警告

- のこ刃の締付けボルト、傾斜用ちょうボルト、レバーが十分に締まっていることを確認してください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。
のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

注

- ④ ロックレバーが元の位置に戻らない場合、⑥ 保護カバーが円滑に動かない場合、⑧ ブレーキが正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

注

- ライトのレンズ部およびファイバーケーブルの照射部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。
ライトのレンズ部などに傷が付くと、明るさが低下する原因になります。
- ライトのスイッチに、取付けてある防じん用カバーに傷を付けたり、防じん用カバーを破いたりしないように注意してください。

各種調整方法について

⚠ 警告

調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 平行度の微調整

ベース側面とのかこ刃の平行度を平行度調整ねじで微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、平行度が狂った場合は次のように調整してください。

注 切込み深さを調整後、平行度の調整を行ってください。(P.21 ① 参照)
平行度調整後、切込み深さの調整を行うと、平行度が若干狂う場合があります。

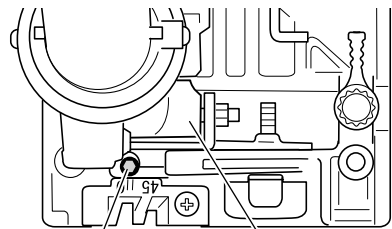
1 ギヤカバーヒンジ部の固定ねじをお手持ちの六角棒スパナ (2.5 mm) でゆるめます。

2 保護カバーをソーカバーの中に引き込みます。

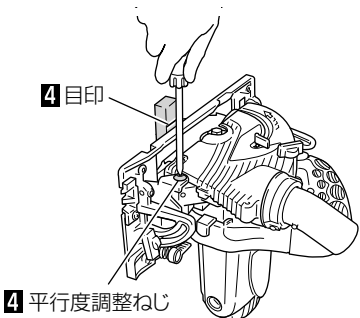
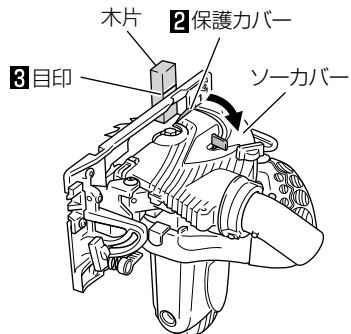
3 のこ刃のベース後方側に木片を当て、ベース側面位置に目印を付けます。

4 目印を付けた木片をベース前方側に移動し、平行度調整ねじをお手持ちのプラスドライバーで回して目印がベース側面に合うようにします。

5 調整後、固定ねじをしっかりと締付けます。



1 5 固定ねじ ギヤカバーヒンジ部



4 平行度調整ねじ

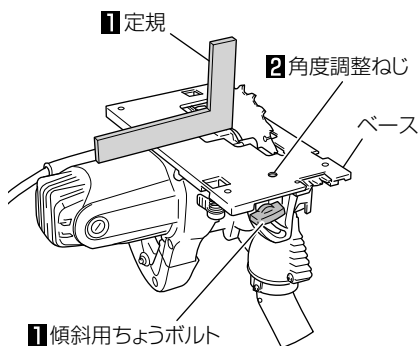
●直角度の微調整

直角度（ベースとのかご刃の角度）を微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、角度が狂った場合は次のように調整してください。

- 1 傾斜用ちょうボルトをゆるめ、ベース底面とのかご刃に定規を当てて直角度を出し、傾斜用ちょうボルトを軽く締めます。

- 2 角度調整ねじの先端がベースの金属製部品に当たるまで、お手持ちの六角棒スパナ（3 mm）で角度調整ねじを回し、傾斜用ちょうボルトをしっかりと締付けます。

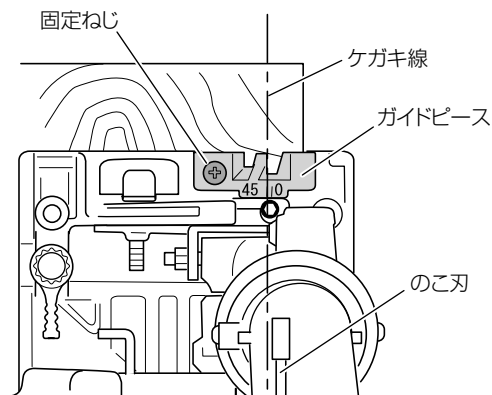
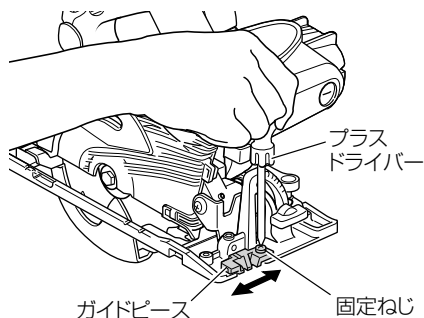


●ガイドピースの微調整

ガイドピースの取付け位置を微調整できます。

工場出荷の際には、ガイドピース切欠部の直線部分をのかご刃の刃部側面に合わせてありますが、取付け位置が狂った場合は、ガイドピースの固定ねじをゆるめ、位置を調整してください。

お手持ちのプラスドライバーで固定ねじをゆるめ、ガイドピースを左右に動かし位置を調整してください。



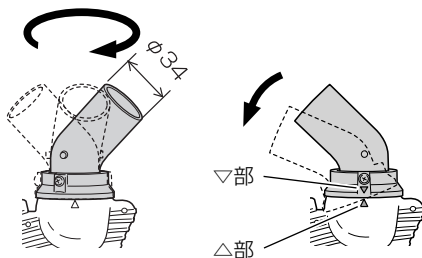
集じん機能の使い方

●ダクトノズルの使い方

位置の調整

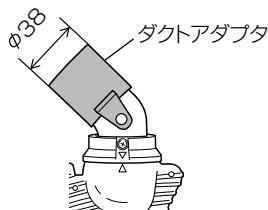
ダクトノズルが上向きときは、回転しますので好みの位置に調整して使用してください。

下向きにするときは、ソーカバーの△印位置とダクトノズルの▽印位置を合わせてから下向きにしてください。



ダクトアダプタについて

他社製集じん機でホース内径φ38を使用する場合は、標準付属のダクトアダプタを使用してください。



●ダストバッグ（別売部品）の使い方

⚠警告

ダストバッグの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

思わぬ事故の原因になります。

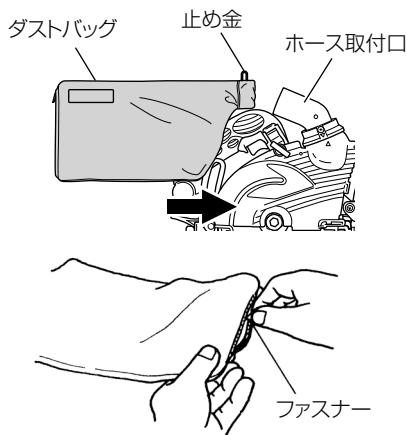
取付け方

ダストバッグの止め金をつまみ、さし込み口を広げ、ホース取付口にさし込みます。

取りはずしと掃除の方法

ダストバッグ内に切りくずがたまりすぎると集じん力が弱まります。切りくずを早めに捨て、ダストバッグを良く掃除しますと集じん力が強く快適に作業できます。

- (1) 止め金をつまんで、ダストバッグのさし込み口を広げ、機体から引き抜きます。
- (2) ファスナーを開き、切りくずを捨てます。



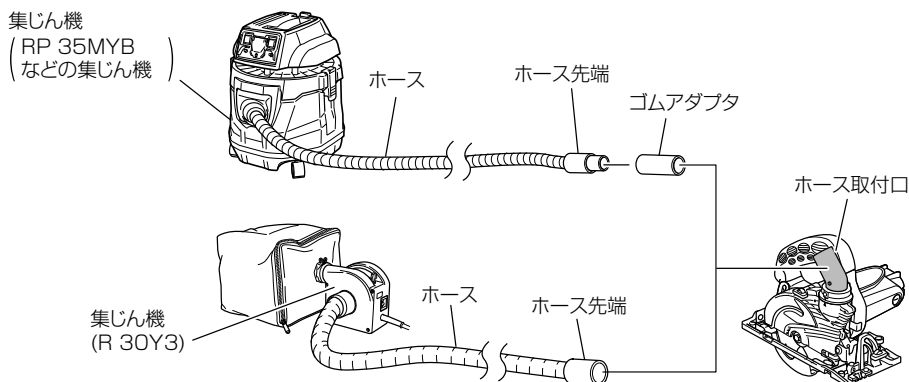
●集じん機を使用する場合

⚠警告

- 集じん機の取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- 集じん機の使用法、集じんできる切りくずなどについては、集じん機の取扱説明書を良くお読みください。

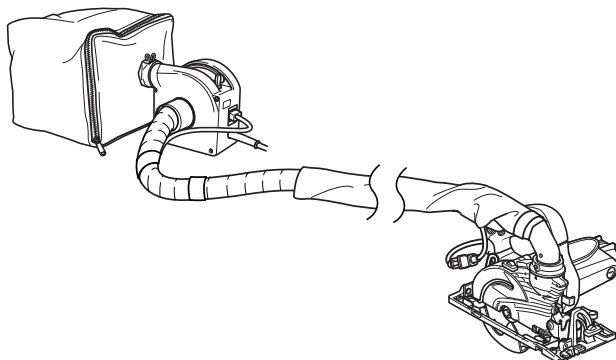
集じん機の見つけ方

集じん機に付属されているホースを、ホース取付口にさし込みます。
RP 35MYB などの集じん機に接続する場合は、集じん機に付属のゴムアダプタが必要になります。



ホースカバーセットの取付け方 (SN 仕様に標準付属)

ホースカバーセットに付いている説明書をお読みいただき、取付けてください。



キックバックについて

キックバックとは

回転中ののこ刃に、急激に大きな負荷がかかり、回転数が急速に低下したとき、反発によって材料もしくは機体が作業者側にはじき飛ばされる現象です。

キックバックを発生させる原因

キックバックを発生させる原因としては

- ① 材料によるのこ刃の挟み込み
- ② 曲線切りなど、機体をこじる作業
- ③ 材料にのこ刃の刃先を当てた状態での起動

ほかにも、劣化したのこ刃の使用やかたい未乾燥材の切断、過度に深い切込み設定、過大な押し付けなど、複合的な原因があります。

キックバックを避けるには

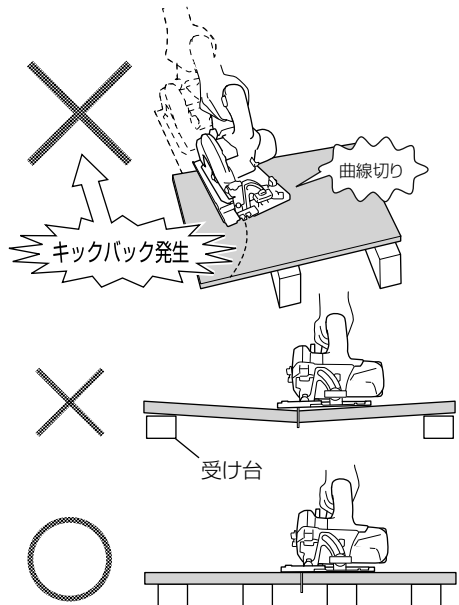
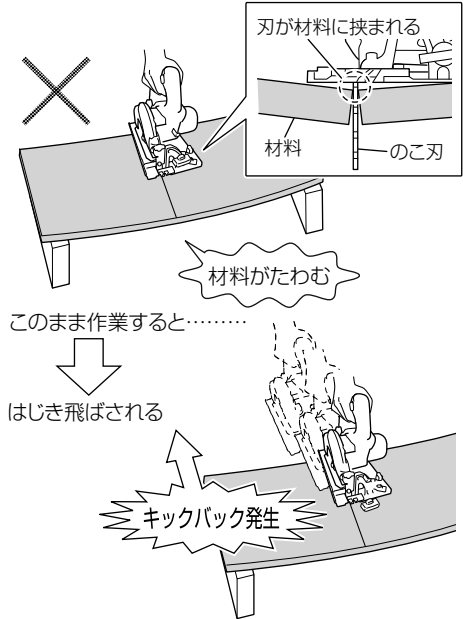
材料によるのこ刃の挟み込みは、キックバックが発生する最大の原因です。

材料の設置方法を注意することで、のこ刃の挟み込みを少なくすることができます。

材料の下に受け台を適切に設置します。

切断する材料が長い場合、端部に近い所に受け台を設置すると、切断中に材料がたわんで、のこ刃を挟み込みます。

切断する部分に近い位置に受け台を設置するか、切り落とし側にも同じ高さの受け台を設置してください。



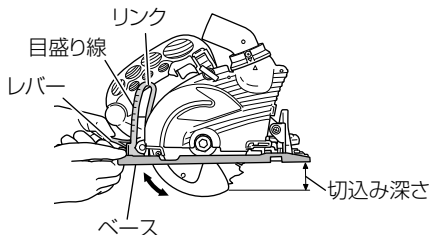
直角に切断する

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、①はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- 切込み深さを調整した後、ベースがしっかり固定されていることを確認してください。ベースがしっかり固定されていないと、けがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 切断中に機体をこじったり、強く押しすぎないでください。機体をまっすぐにゆっくり進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

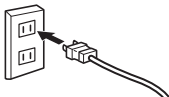
1 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、レバーを締付けてベースを固定します。



注 切込み深さを調整するときは、ベースと機体の間に指などを挟まないよう注意してください。

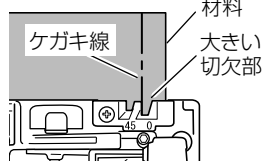
2 電源プラグをコンセントにさし込む



3 ケガキ線に合わせる

材料の上に機体（ベース）を載せ、ケガキ線にガイドピース切欠部を合わせます。

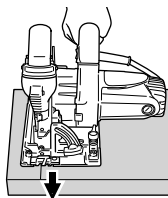
大きい切欠部（0°傾斜時使用）を目安にしてください。



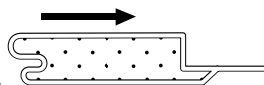
- ガイドを使って切断する際には P.29 を参照してください

4 スwitchを入れ、ゆっくり前方に進める

のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、のこ刃の回転が最高速になりましたら、ゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにします。ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。

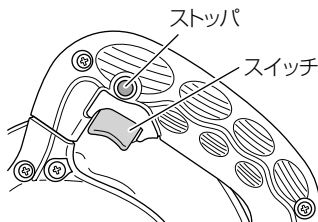


- 注**
- コンクリートや ALC などの湿った材料を切断すると、ギヤカバーの排出口に切粉が詰まる原因になります。できるだけ乾いた状態で切断してください。
 - 切込み深さを浅くして使用する場合には、刃口が開くため、集じん力が低下します。
 - コンクリートなどを切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下にしてください。無理に押し付けるとモーター故障の原因になります。
 - 押出成形セメント建材を切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下、または送りを遅くして切断してください。
 - コンクリート切断の際に、ベースのメッキがはがれる場合があります。
 - ALC を切断する場合には、速い送りのまま切断すると、鉄筋切断時の振動で ALC が欠ける場合があります。切り終わりのときは、切断速度を落としてください。
 - 金属サイディングを切断するときは、金属側を下側にして切断してください。上側にすると、表面のバリが大きくなります。
 - 金属サイディングは、右図に示す方向から切断してください。逆方向から切断すると表面のまくれが大きくなります。
 - フッ素プレート（別売部品）を取付けたときは、滑りが良いためモーター部に無理がかかりやすくなっています。機体を強く押しすぎないでください。



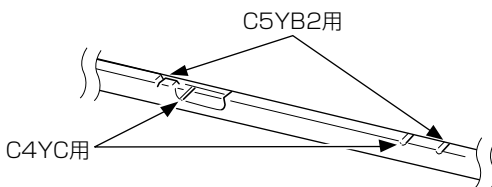
●連続運転について

スイッチをいっぱい引いた状態でストッパを押すと連続運転になります。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストッパがはずれてから指をはなします。



●刃先の位置について

ベース側面に付いている凹印は、最大切込み時の刃先の位置を示します。切り始め、切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。

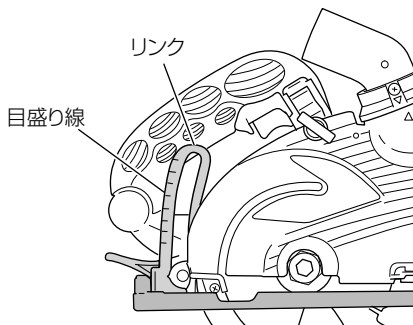


●切込み深さについて

ベースとのか刃が直角のときは、リンクに付いている目盛りを目安に切込み深さが調整できます。

C 4YC のリンクにはのか刃外径 100 mm 用、C 5YB2 のリンクにはのか刃外径 125 mm 用の目盛りが付いています。目盛り線は 1 mm 刻みです。

なお、フッ素プレート（別売部品）を取付けたときは、フッ素プレートの厚さを考慮してください。



傾斜切断する

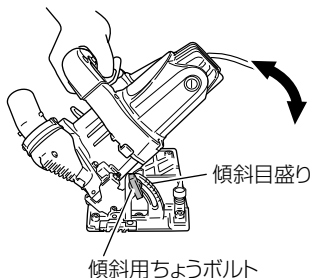
⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、①、②はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて調整してください。
- ①、② 調整後、傾斜用ちょうボルト、レバーを十分に締付けてください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 切断中に機体をこじったり、強く押しすぎないでください。機体をまっすぐにゆっくり進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

1

傾斜角度を調整する

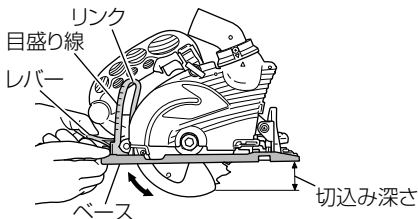
- 傾斜用ちょうボルトをゆるめ、傾斜角度を調整します。のこ刃をベースに対して、最大 45°まで傾けることができます。
- 傾斜用ちょうボルト締付け部に 5°刻みの傾斜目盛りが付いています。
正確な角度で切断したい場合はベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。



2

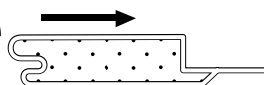
切込み深さを調整する

レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、レバーを締付けてベースを固定します。

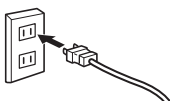


- 注**
- リンクに付いている目盛り線は、傾斜切断のときは使用できません。
 - 切込み深さを調整するときは、のこ刃の切込み深さを実測してください。
 - 切込み深さを調整するときは、ベースと機体の間に指などを挟まないよう注意してください。

- 注**
- コンクリートや ALC などの湿った材料を切断すると、ギヤカバーの排出口に切粉が詰まる原因になります。できるだけ乾いた状態で切断してください。
 - 切込み深さを浅くして使用する場合には、刃口が開くため、集じん力が低下します。
 - コンクリートなどを切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下にしてください。無理に押し付けるとモーター故障の原因になります。
 - 押出成形セメント建材を切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下、または送りを遅くして切断してください。
 - コンクリート切断の際に、ベースのメッキがはがれる場合があります。
 - ALC を切断する場合には、速い送りのまま切断すると、鉄筋切断時の振動で ALC が欠ける場合があります。切り終わりのときは、切断速度を落としてください。
 - 金属サイディングを切断するときは、金属側を下側にして切断してください。上側にするると、表面のバリが大きくなります。
 - 金属サイディングは、右図に示す方向から切断してください。逆方向から切断すると表面のまくれが大きくなります。
 - フッ素プレート（別売部品）を取付けたときは、滑りが良いためモーター部に無理がかかりやすくなっています。機体を強く押しすぎないでください。

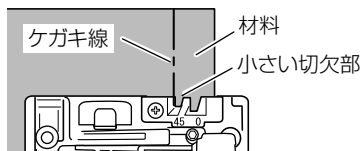


3 電源プラグをコンセントにさし込む



4 ケガキ線に合わせます

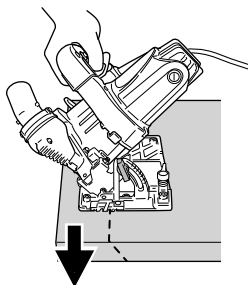
45°傾斜するときは材料の上に機体（ベース）を載せ、ケガキ線にガイドピースの小さい切欠部を目安に合わせます。



5 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、のこ刃の回転が最高速になりましたら、ゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにします。

ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



- ガイドを使って切断する際には P.29 を参照してください

のこ刃の取りはずし・取付け

ソーカバーを取付けたままでのこ刃の取りはずし・取付けができます。

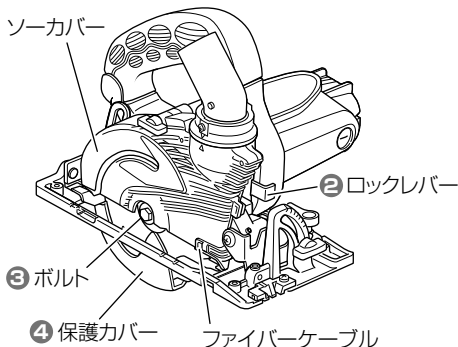
⚠ 警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください

注 のこ刃の取りはずし・取付けの際は、ソーカバーおよびファイバーケーブルを傷つけないように作業を行ってください。

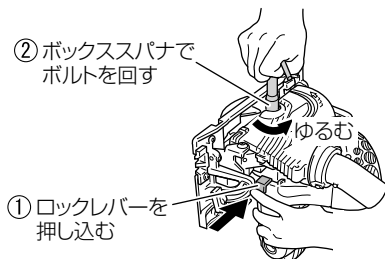
● のこ刃の取りはずし

- 1 レバーをゆるめ、切込み深さを最小にする**
(P.21 の①参照)



- 2 のこ刃軸を固定する**

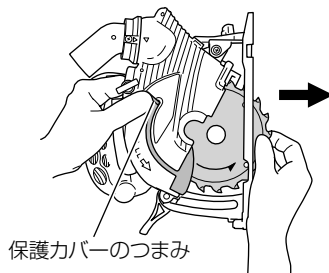
ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを反時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。この状態でのこ刃軸が固定されます。



- 3 ボックススパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (A) をはずす**

- 4 のこ刃を取りはずす**

保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃を取りはずします。



● のこ刃の取付け

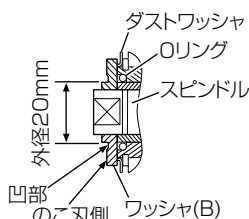
1 レバーをゆるめ、切込み深さを最小にする

(P.21 の ① 参照)

スピンドルやワッシャ (A)、ワッシャ (B) に付いている切りくずを良くふき取ってください。

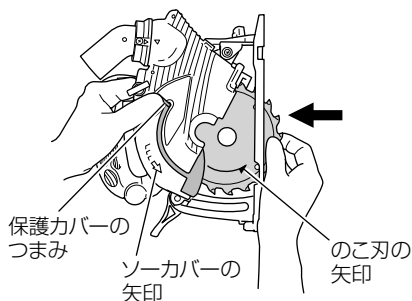
2 ワッシャ (B) の凹部をのこ刃側にして取付ける

ワッシャ (B) は、穴径 20mm ののこ刃だけが取付けできるようになっています。



3 のこ刃を取付ける

保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



5 切込み深さを調整し、レバーを締付ける (P.21 の ① 参照)

ロックレバーが元に戻っており、のこ刃が円滑に回転することを確認します。

⚠ 警告

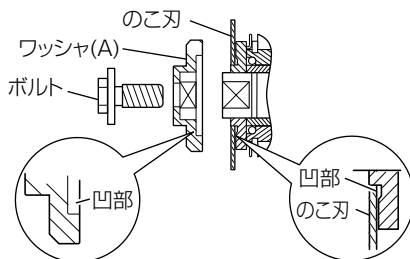
ボルトの着脱は付属のボックススパナで作業してください。

付属以外の工具を使用すると、締めすぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

- 注**
- ワッシャ (B) の取付け方向を誤ると、のこ刃を取付けることができません。
 - ワッシャ (A)、ワッシャ (B) は必ず機体に取り付けてある物を使用してください。
 - のこ刃を締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。
 - ダイヤモンドホイールの取付けは、P.30 を参照してください。

4 のこ刃を固定する

ワッシャ (A) の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックレバーを押し込みのこ刃軸を固定して、ボックススパナでボルトを時計方向に十分に締付けます。(P.13 の ④ 参照)



ソーカバーの取りはずし・取付け

ソーカバー内の掃除等により、取りはずしの必要があるときに行ってください。

⚠ 警告

- ソーカバーの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- のこ刃を取りはずした状態で行ってください。
- ソーカバーの取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください。

● ソーカバーの取りはずし

1

のこ刃を取りはずす

(P.25 参照)

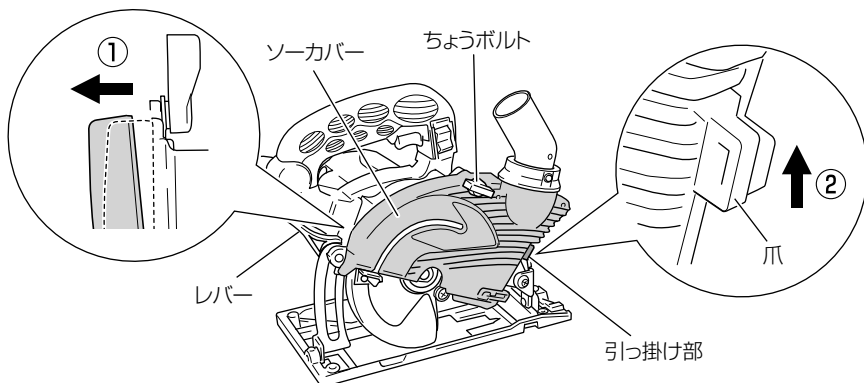
2

ちょうボルトをゆるめて
取りはずす

3

ソーカバーを取りはずす

ソーカバーを矢印①の方向に開き、爪がギヤカバーとの引っ掛け部からはずれるまで矢印②の方向にスライドさせソーカバーを取りはずします。



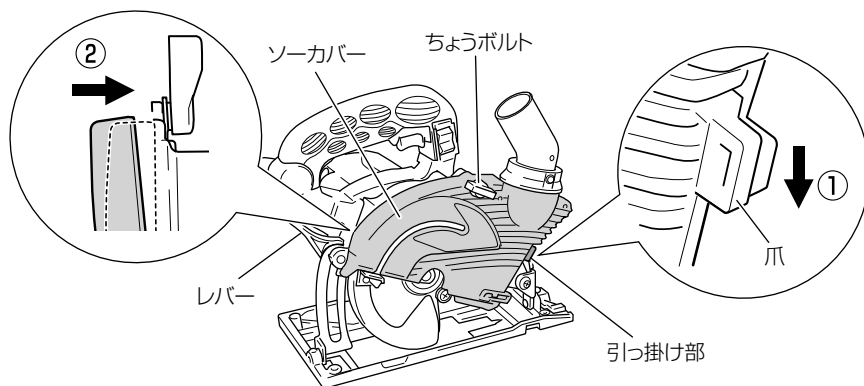
●ソーカバーの取付け

1 レバーをゆるめ、切込み深さを最小にする

(P.21 の①参照)

2 ソーカバーを取付ける

ソーカバーの爪がギヤカバーとの引っ掛け部に収まるまで矢印①の方向にスライドさせ、ソーカバーを矢印②の方向に押し込みソーカバーを取付けます。



3 ちょうボルトを締付けて固定する

4 のこ刃を取付ける

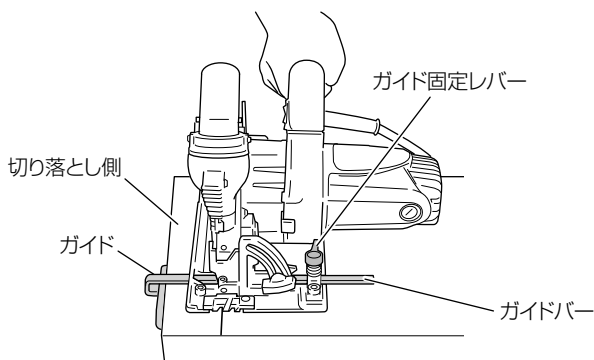
(P.26 参照)

ガイドの使い方

ガイドは材料の端面に対して平行に切断するとき 사용합니다。

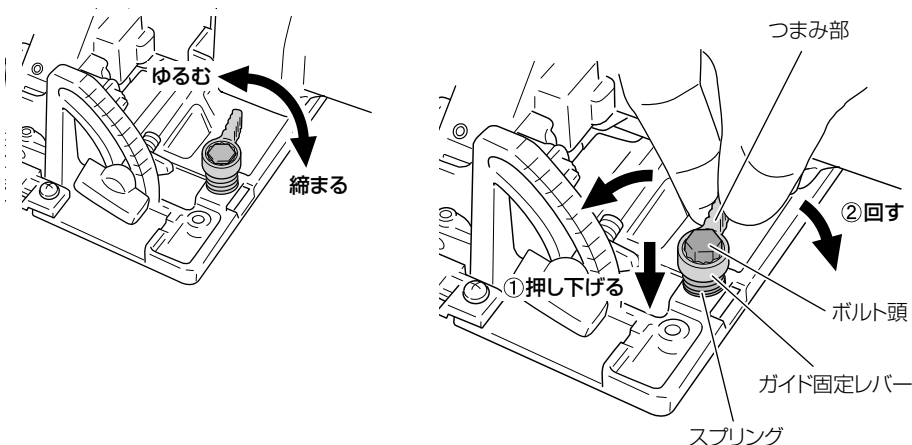
●ガイドの取付け

- ① ガイドのガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）前方の穴に通します。
- ② ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、前方のガイド固定レバーを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。



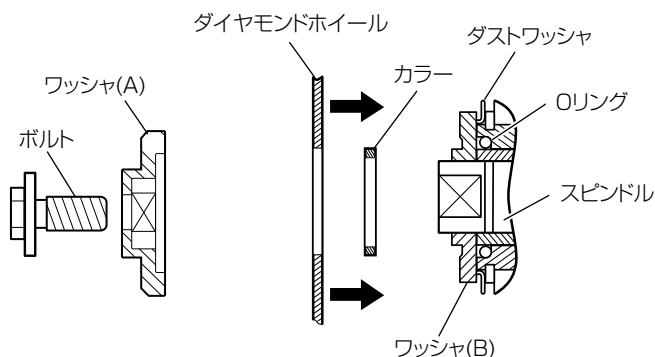
●ガイド固定レバーのノブ位置調整

ガイド固定レバーを押し下げると、ボルト頭との合わせがはずれて自由に回転します。ガイドをしっかりと固定した後は、ガイド固定レバーを押し下げて、切断作業時の邪魔にならない位置につまみ部を回転させてください。



ダイヤモンドホイール（別売部品）の取付けについて

ダイヤモンドホイール（別売部品）は穴径が 22 mm です。ダイヤモンドホイールに付属のカラーをワッシャ（B）にはめて取付けてください。



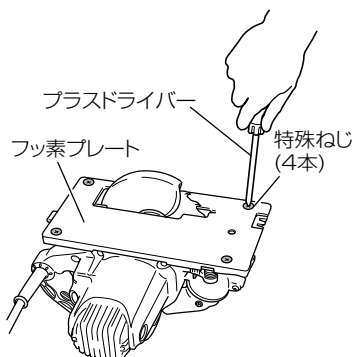
フッ素プレート（別売部品）の使い方

石こうボードを切る際に使用してください。

- 注**
- 石こうボード切断専用です。
 - 石こうボード以外の切断を行うとフッ素プレートのフッ素コートがはがれ、フッ素プレートの滑りが悪くなります。
 - 切断するときは、滑りが良いためモーター部に無理がかかりやすくなっています。機体を強く押しすぎないでください。

取付け方

フッ素プレートは付属の特殊ねじ（4本）を、お手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。



保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● のこ刃の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。新品と交換してください。

⚠ 警告

切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 保護カバーの点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動くようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●ソーカバー内の掃除

切粉等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

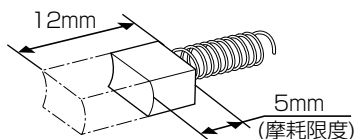
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度 (5 mm ぐらい) になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由に滑るようにしてください。

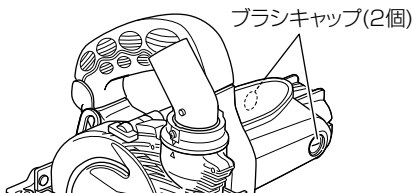
- 注**
- 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。
 - 新品交換後の運転でカーボンブラシから臭いが出ますが、故障ではありません。5 分間ほど無負荷運転をすることによって、臭いは少なくなります。



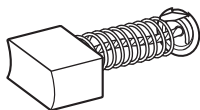
● カーボンブラシの交換方法

1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどでブラシキャップを反時計方向に回してはずします。



2 カーボンブラシを取り出す

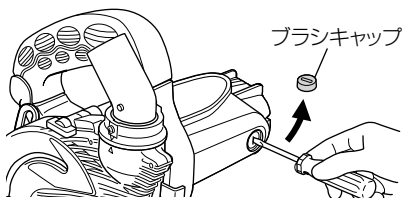


3 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>